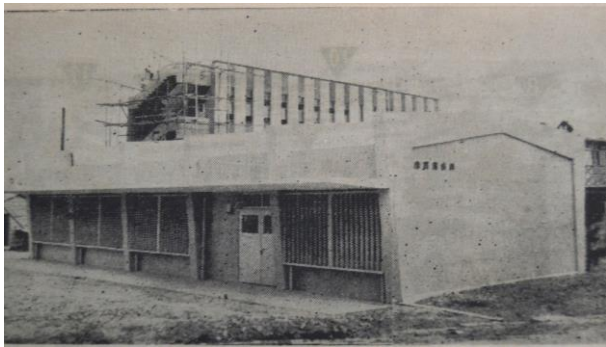


これまで、市民が自由に
使える集会所はなかった
らしい・・・



1958年7月に完成した市民集会所
『市民の友 1958年7月25日』より)

～半分は寄付！市民集会所～

1958年7月、市民が自由に使用できる集会所が美栄橋町（現久茂地）に完成しました。総工費約90万円の内、約50万円分にあたる資材（材木やセメント等）は日本労働組合総評議会から贈られたものでした。資材が届いたのは1957年10月でしたが、当時の瀬長亀次郎市長の時には琉球政府の許可が下りなかったため受け取ることができず、後任の兼次佐一市長の時代によりやく使用する事ができました。

集会所は1階建てで、収容人数は約200人、移動舞台も備え付けられていたといえます。1985年頃からはボランティアサロンとして使われていましたが、老朽化のため1997年に取り壊されました。跡地は現在、美栄橋公園（通称三角公園）の一部となり、その一角には「市民集会所跡地」の石碑が建てられています。



～2つの新庁舎候補地～

1965年に現在の場所に建設された那覇市役所ですが、実は候補地がもう1ヶ所ありました。与儀の中央農業研究指導所跡（現与儀公園）です。

新庁舎建設特別委員会では、交通事情が良く、他の官公署も集まっているため市民が利用しやすいと考えられる上泉（現泉崎）建設案と、周囲の景観が良く、今後の道路整備のしやすさや他の市有地を売却することで建設資金にあてられる点を利点とする与儀建設案が審議されました。そして1963年6月の第57



落成した新庁舎
（那覇市歴史博物館提供）

回議会において、賛成多数（27名のうち反対4名）で上泉建設案が可決されたのです。

表決の際、当時の副議長・大山盛幸議員は言いました。「表決にあたりましては慎重にお願いいたします 那覇市の将来を約束する歴史的な瞬間になると思います」

